呉工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築設計製図Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0024	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	『建築設計製図』（実教出版社）		
担当教員	河﨑　啓太		

到達目標

・線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解し，説明できる.
・製図用具の正しい使い方と製図規約の基本ルールに基づき，単純な図面を作成できる.
・製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法をよく体験・理解し，適切に説明できる.	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解し，説明できる.	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解せず，説明できない.
評価項目2	製図用具の正しい使い方と製図規約の基本ルールに基づき，単純な図面を適切に作成できる.	製図用具の正しい使い方と製図規約の基本ルールに基づき，単純な図面を作成できる.	製図用具の正しい使い方と製図規約の基本ルールに基づき，単純な図面を作成できない.
評価項目3	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で適切に作成できる.	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できない.

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	本科目の目的は，建築製図の基本となる製図用具の使い方と製図規約の習得と，基礎的な建築設計図面の製図法を習得することである．この目的を達成するため，授業は平行定規を使用し，教科書に記載された手本教材を手書きで正確に模写する実習を行う．建築士試験では製図試験も必須であるため，製図規約を学習する本科目は就職や将来建築技術者としての実務に大いに関連する.
授業の進め方・方法	演習を中心として，適宜講義・説明を加え，課題を出す.
注意点	成績については「評価割合」の欄を参照する。この欄の「総合評価割合」の「合計」100%のうち，60%以上達成すれば合格となる。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	指導教員による製図道具の説明，基礎製図，線の練習	製図用具の特性を理解し、使用できる。
		2週	基礎製図，線の練習	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解し，説明できる.
		3週	基礎製図，文字，平面表示記号の書き方練習１週目	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解し，説明できる．。
		4週	基礎製図，文字，平面表示記号の書き方練習２週目	線の引き方，円の描き方，レタリングなどの練習を通して，建築設計製図の基礎的な技法を体験・理解し，説明できる.
		5週	1/200配置図，1/100平面図，1/100立面図，1/100断面図の描き方練習　１週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		6週	1/200配置図，1/100平面図，1/100立面図，1/100断面図の描き方練習　２週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		7週	1/200配置図，1/100平面図，1/100立面図，1/100断面図の描き方練習　３週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		8週	1/200配置図，1/100平面図，1/100立面図，1/100断面図の描き方練習　４週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
	4thQ	9週	1/200配置図，1/100平面図，1/100立面図，1/100断面図の描き方練習　5週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		10週	1/50平面図の書き方練習　１週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		11週	1/50平面図の書き方練習　２週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		12週	部分詳細図（基礎部分）の書き方練習　１週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		13週	部分詳細図（基礎部分）の書き方練習　２週目	製図用具の正しい使い方と製図規約の基本ルールに基づき，単純な図面を作成できる.
		14週	1/100平面図設計課題　１週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		15週	1/100平面図設計課題　２週目	製図法を基本とし，簡単な木造平面を図面の正しい描き順で作成できる.
		16週	1/100平面図設計課題　３週目（発表会）	自らが作成した図面について，的確にプレゼンテーションんができる.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	4	後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	10	0	20	70	0	100
基礎的能力	0	0	0	10	40	0	50
専門的能力	0	10	0	10	30	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0